

ご 注 意

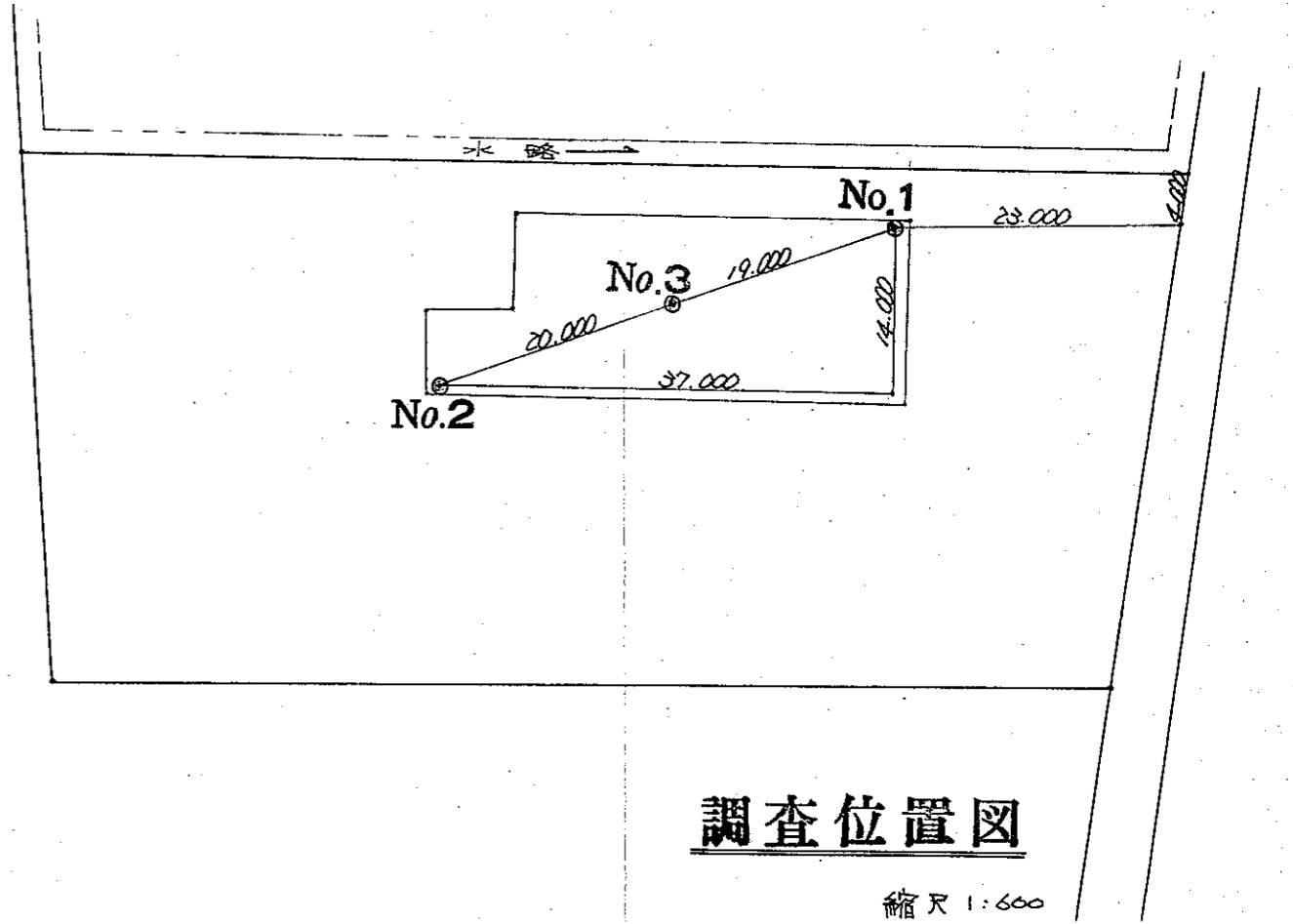
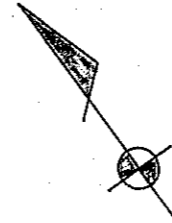
地盤の許容応力度及び基礎杭の許容支持力は、国土交通大臣の定める方法によって地盤調査を行い、その結果に基づき定めなければならないと規定されています。(建築基準法施行令第93条)

地盤構成並びに各地層の性状は、場所ごとに千差万別であることから、敷地（状況においてはその周辺も含めて）の地盤調査によって地盤構成等を的確に把握し、その結果に基づいて建物をどの地層に支持させるかを決定する必要があります。

したがって、本資料は計画段階における参考資料としてご利用ください。

栃木県土木部建築課

調査案内図



調査位置図

縮尺 1:600

地質柱状図

(注) 1. 乱さない試料 (記号の右の数字は試料番号)

- T-1 シンウオールサンプラーによる採取
- D-2 デニソンサンプラーによる採取
- S-3 スチールサンプラーによる採取

調査件名 正邦須野家畜保健衛生所 孔番 No. 1 標高
 (基準面)
 調査場所 栃木県那須郡正邦須野町ニッ室 自然孔内水位 45.80 m (7月12日測定)
 調査年月日 昭和54年7月11日~7月12日 調査員

2. 試料採取深度と回収比
 $\frac{4.00}{45/50}$ 45/50は回収比
 4.50

標尺 m	標高 m	深 度 m	層 厚 m	柱状 図 記 号	地 質 名	色 調	観 察	相 対 密 度	相 対 稠 度	標 本 資 料 No.	試料		標準貫入試験									
											採取 記 号	採取 深 度 m	深 度 m	N 値 回/30cm	10cm毎の 打撃回数			N 値 回/30cm				
															10 cm	20 cm	30 cm	10	20	30	40	50
0					表 工 淡 黒		含砂中礫五石混入															
1		0.70	0.70							①		1.00	35/30	10	11	11						
2										②		2.00	26/30	6	9	11						
3										③		3.00	35/30	14	10	12						
4										④		4.00	39/30	12	13	14						
5										⑤		5.00		五石の多い 層に成る								
6							含砂の崩壊散り 五石全般に散入			⑥		6.00	46/30	16	15	15						
7							下層部粘土混り砂礫 層に成る			⑦		7.00	43/30	9	16	18						
8		7.80	7.10		砂 礫 黄茶褐色			密		⑧		8.00	30/30	17	21	12						
9								極密		⑨		9.00	44/30	13	15	16						
10							含砂少なからず 新く固結粘土成る			⑩		10.00	30/30	25	23							
11		11.20	3.40		粘土混り 砂 礫 茶褐色		五石散入	極密		⑪		11.00	30/30	20	22	9						
12																						
13																						
14																						
15																						

▽ 4L
5.80m

